



学校だより

かけ橋

パート IV

横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 4. 14

No. 2

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

始業式の話

4月7日に始業式が行われました。いつものように、「もっと春休みがあった方がよいか、学校が始まってよかったか」聞いてみました。大勢の子が、後者に手を挙げたので、ホッとしました。その後、子どもたちに、右の資料を見せながら、汐入小の学校目標は何か尋ねました。すると、自信を持って答えられると手を挙げた子は、2割程度でした。

毎回、学校だよりの右上に書かれているのですが、子どもたちにとっては、あまり意識されていなかったようです。

何人かの子に答えさせたのですが、残念ながら、完全に正解する子はいませんでした。

そこで、今年異動してきたばかりの山本先生に答えてもらいました。なんと、3つともちゃんと答えました。子どもたちからは、「おーー！！」という歓声があがりました。

そして、子どもたちには、それぞれの言葉の意味を担当の先生から詳しく聞くように伝えました。「元気でやりぬく子」と言っても、それぞれの学年によって、具体的な姿は違います。具体的な姿がイメージできなくては、子どもが主体的に学校目標にせまることはできません。

始業式の言葉をきっかけにして、日々の学校生活の中で、具体的に、その目標にせまっていけることが大切だと考えています。

また、春休み中から登校して、新学期の準備をしてくれた5年生と6年生にお礼を言いました。そういった活動を通して、高学年としての自覚と自信を培っていくのだと思います。8日の朝、6年生は、入学式のあとの片づけも積極的に取り組みました。



入学式の話

入学式に際し、汐入の各町内会長はじめ学校評議委員の皆様には、ご臨席いただき誠にありがとうございました。今年は、男子9名 女子13名 合計22名です。

入学式では、「あいさつ」の話をしました。はじめに、「入学おめでとうございます。」と言ったら、「ありがとうございます。」と返って来るものと思ったら、ノーリアクションでした。そこで、どのように答えたら良いか教えました。

保護者の方へは、学校と家庭の連携をお願いしました。そのためには、「情報のキャッチボール」が大切とお話しました。学校からの連絡帳やおたよりを読んでだけでなく、

家庭での様子や保護者の思いを積極的に学校に伝えてくれるようお願いしました。

そして、最後に、子どもたちに、「おめでとう」と言うと、今度はちゃんと「ありがとうございます。」と言えました。今年の1年生は、のみ込みが早いなと感心しました。



新学期を楽しみにしていました

新学期を楽しみにしていたのは、子どもたちばかりではありません。先生方も、進級した子どもたちに会えるのをとても楽しみにしていました。

そんな先生方の気持ちが、学級だよりの文面に表れています。いくつかご紹介します。

「久しぶりの1年担任で責任を感じながらも、かわいい子ども達といっしょに勉強できることが楽しみです。」

「一期一会という言葉を知っていますか？やはり、何かしらのご縁があったからこそ出会えたのだと思うので、この出会いを大切にしていきたいと思います。」

「3年生というのは、体が成長するだけでなく、いろいろな経験を通して心も大きく成長する時期です。「あれをしたい！」「これはどうなっているの？」と好奇心も旺盛です。何にでも興味関心を持つすばらしいところを十分に伸ばしていきたいと思っています。」

「4年生になり、仲間意識がより高まり、みんなで活動することがとても楽しくなる時期だと思います。1年生のときからの仲間も、またさらに違う面が見えてくるかもしれません。」

「初めての転勤ということで、新しい環境に今からドキドキわくわくしています。・・・ご家庭と連絡を取り合いながら、二人三脚でお子さんの教育に取り組めたらと思っています。」

「今年もご縁があり、担任させて頂くことになりました。責任の重さを感じ、緊張していますが、うれしい気持ちでいっぱいです。今、また、気持ちを新たに、この1年間を実りのある充実したものにしていきたいと思います。」

「あたたかな春の日ざしの中、元気な子どもたちの声がまた学校に戻ってきました。やはり学校には子どもたちの元気な声が聞こえるのが、一番ですね。・・・これから毎日、この笑顔に会えると思うとわくわくうきうきします。」

先生方も子どもたちもやる気まんまんでスタートしました。このやる気と元気を根気をつなげながら、充実した1年にしていきたいものです。ご家庭のご協力をよろしく願っています。

